

仁厚会だより

2017年
春号

社会医療法人 仁厚会 広報誌

平成29年4月15日発行

発行：社会医療法人仁厚会
〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43番地
TEL (0858) 26-1012
<https://www.med-wel.jp/>

平成29年度 法人理念 「主役はいつも患者さん」



平成 29 年度新入職員～今後の活躍に期待～

CONTENTS

- P.2 平成 29 年度入社式
理事長 藤井一博
- P.3 新任医師の紹介
医師 3 名を紹介します
- P.4-5 創立 60 周年記念
第 1 回 仁厚会・敬仁会 医療福祉学会
鳥取大学教授 兼子幸一先生講演会
永年勤続表彰／事例研究発表会
鳥取大学教授 磯本 一 先生講演会開催
- P.6-7 平成 29 年度事業計画
- P.8 医師の明瞭解説
藤井政雄記念病院 遠藤信典医師
- P.9 乳がん研修
キラッとフォーカス
- P.10-11 News Topic
認知症疾患医療センター研修会 ほか
JIN'S キッチン
- P.12 健康レシピ
Photo Report





米子東病院
診療部長

いしだ げん
石田 玄
平成29年4月1日着任

出身大学 鳥取大学

専攻 神経内科

所属学会 日本内科学会 日本神経学会
日本神経治療学会
日本リハビリテーション医学会
日本プライマリケア連合学会

専門および対象疾患 神経内科／一般内科

ご縁があって仁厚会に入職させていただくことができました。米子生まれの米子育ちですが江津・松江・安来の病院に勤務していました。常にジェネラリストであることを心がけサイエンティストであるという気持ちを忘れずに診療にあたってきました。まだまだ未熟者です。ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



医療福祉センター
倉吉病院
医師

まつお りょういち
松尾 諒一
平成29年4月1日着任

出身大学 鳥取大学

専攻 精神科

所属学会 日本精神神経学会

専門および対象疾患 精神科一般

4月からお世話になります。医師としての経験はまだ浅いですが、地域に貢献した医療を心掛け頑張ります。よろしくお願いします。



藤井政雄記念病院
附属歯科クリニック
歯科医師

みたに いずみ
三谷 泉
平成29年4月1日着任

出身大学 長崎大学

専攻 歯科・歯科口腔外科

所属学会 日本口腔外科学会

専門および対象疾患 一般歯科／口腔外科

この度藤井政雄記念病院附属歯科クリニックに着任いたしました三谷泉と申します。私は長崎大学歯学部卒業後、神戸大学病院歯科口腔外科にて1年間研修致しました。まだまだ未熟ではありますが、日々技術の研鑽を積み、努力を惜みず精進してまいりますので、何卒よろしくお願い致します。

平成29年度 入社式

4月3日、社会医療法人仁厚会、社会福祉法人敬仁会の合同入社式を行い、25名の新入職員が仁厚会に仲間入りしました。

入社式ご挨拶

新入職員の皆様、こんにちは。

澆刺とした心持ちで新年度を迎えられたことと思います。

未曾有の超高齢化社会が到来し、医療・福祉・介護の現場は大きな転換期を迎えています。柔軟な発想が求められる中で、これから、若い皆様の活躍の場が益々大きく広がっていくのだと思います。

皆様がこの仕事に携わろうと決めた「初心」を大切にしていただきながら、思い描いた夢を実現していただければ何よりの喜びです。

新たに皆様に仲間に加わって頂いたことにより、私たち法人の活力がいや増して、これからも地域社会の大きな支えとなることを願っています。

先行き不透明な時代と言われますが、同時に、自ら道を切り開いていくという喜びや、やりがい強く自覚できる、エキサイティングな時代に生きているともいえます。

恐れることなく、果敢に挑戦し、皆様の力を発揮していただければと思います。

一緒に頑張っていきましょう。どうぞ宜しくお願い致します。



平成29年4月3日
理事長 藤井 一博



創立60周年記念 第1回

仁厚会・敬仁会 医療福祉学会

平成29年2月25日（土）にアゼリアホールをメイン会場として「創立60周年記念 第1回仁厚会・敬仁会 医療福祉学会」を開催しました。両法人併せて450名あまりの参加があり、メイン会場のみでは収容しきれずサテライト会場も使用するなど、職員の知識向上に対する意欲の高さが垣間見える盛況な学会となりました。

記念講演

鳥取大学医学部

精神行動医学分野教授

兼子 幸一先生



鳥取大学教授 兼子幸一先生

第1回の学会開催を記念して、鳥取大学医学部精神行動医学分野教授の兼子幸一先生に、「統合失調症の認知機能障害と認知リハビリテーション」と題したご講演をいただきました。

統合失調症の患者様の治療の最終ゴールは、自立した生活を送っていただくための社

会機能の改善であること、また、そうするためには、精神症状より認知機能障害の改善に重点をおいてアプローチしてはどうかと説明されました。その役割を担う認知リハビリテーションの具体的な方法として、認知矯正法（CRT）を、教育ソフトウェア等を利用したNEARを例に紹介いただいた上、海外の事例

永年勤続表彰

開会式の中では、定年を迎えた職員や勤続30年・20年・10年の節目を迎えた職員に対し、藤井一博理事長より感謝の言葉と共に表彰状と記念品が授与されました。

受賞者を代表して須江秀一医師（ル・サンテリオン管理者）が今後の更なる貢献と飛躍を誓うと、会場は定年退職

事例研究発表会

午後の部では、3会場に分かれて、各病院や施設等で取り組んできた様々な事例研究の成果が発表されました。どの研究も、患者様や利用者様へのサービス向上を目指した取り組みであり、法人理念「主役はいつも患者さん」を具現化するためのものでした。発表の後の質疑応答では、活発な意見交換も行われ、今後の



受賞者代表謝辞

を迎えられた方への労いと、節目を迎えた方々に対する今後の活躍を期待する拍手で満たされました。

鳥取大学医学部 機能病態内科学分野(第二内科)教授 磯本 一先生 講演会開催

平成29年3月15日アゼリアホールに鳥取大学医学部機能病態内科学分野（第二内科）教授 磯本一先生をお迎えし「鳥取大学医学部第二内科の現状と未来―伝統と革新―」と題し約1時間にわたりご講演をいただきました。

当日は平日の夜にもかかわらず関連施設から約250人も多数の参加者があり先生も大変驚いておられる様子でした。

先生は消化器内視鏡分野では世界的に御活躍されており、これまでの臨床及び研究上の業績や最新の内視鏡を用いた光学療法や再生医療を用いた治療法などをわかり易く説明いただきました。また、今後の第二内科の臨床・研究での方向性を示され山陰地域での消化管・肝胆膵・腎臓領域の

医療が今後ますます発展・充実するものと確信致しました。

講演会終了後の質疑応答でも丁寧に対応していただき先生のお人柄が表れていたようです。

これを機会に今後当院と鳥取大学医学部第二内科の連携強化が図れればと願っております。

最後に講演会開催に当たり、法人本部、仁厚会及び敬仁会の多数の施設の関係者の方々に御協力また御参加していただき御礼申し上げます。

藤井政雄記念病院

診療部長 宮崎 聡



鳥取大学教授 磯本一先生

業務に多くのヒントを与えてくれました。

発表された35演題（医療9、介護17、障がい5、保育4）の中から、7演題（うち仁厚会4演題）が優秀賞に選ばれ、閉会式で表彰されました。表彰の選から漏れた演題の中にも、素晴らしい取り組みや発表も多くありました。発表を終えたことで研究を終了するのではなく、更に研究を深め、「その後どうなったか」の報告も次回の研究発表会で聞けるものと期待しています。

第1回仁厚会・敬仁会
医療福祉学会
実行委員長 山田 覚



聴く方も真剣勝負

施設名	タイトル	発表者	結果
倉吉病院	看護師主導で行う薬剤チェックリストを用いた薬物療法カンファレンス	光浪真紀	
	多飲症患者の飲水自己調整に至るまでの取り組み 申告飲水と心理教育からみえてきたもの	高木智加	
	暴力予測に関する看護師の観察視点 自由記述式アンケートを用いて	藤井大輔	
藤井政雄記念病院	24時間自由行動下血圧計（ABPM）を用いた降圧治療中の血圧日内変動タイプ別の血清尿酸値の検討	宮崎 聡	医療部門 2 位
	EilersOralAssessmentGuide（OAG）を用いた口腔内評価について	真鍋 憲	
	主介護者の健康管理に向けた取り組み 転倒をきっかけに意欲低下をきたした患者の退院支援	矢田優子	医療部門 1 位
米子東病院	自動車運転履歴が運動予後に与える影響 ～回復期リハ病棟の脳卒中患者を対象に～	磯江香那	
	気管切開による意思疎通困難患者に対する排泄管理への取り組み	宮脇 淳	
		坪倉真由	
ル・サンテリオン北条	ターミナルケアを行った末期肺癌の1事例	新川由紀・大谷 茂	
ル・サンテリオン鹿野	PDの歩行障害に対する横歩きの即時効果 食事姿勢保持のアプローチ	綾女翔太 木村祥文	介護部門 3 位
ガーデンハウスはまむら	「何だろう…」から始まるケア運営理念“安心・安全な住まいと快適な生活環境の提供”	市村千由紀・小笠原圭子	
ル・サンテリオンよどえ	リハビリテーションマネジメント加算Ⅱ取得に向けて ～多職種と共に利用者の個別ニーズを叶える為に～	遠藤 創	
ガーデンハウスよどえ	ガーデンハウスよどえの挑戦～地域とのつながりを求めて～	矢野秀明・三好一平・岩本光大	
在宅医療福祉センター	あずさパン工房の目指すもの 食べることは つながること	小林美穂	障がい部門 1 位
よどえババール園	絵本から広がる表現遊び データから見えてきたリスク【ポスター発表】	小椋志穂 長尾沙織、斉木美絵	
大和保育園	食物アレルギーへの対応とその実践	三嶋 碧	

法人理念 「主役はいつも患者さん」

平成29年度事業計画

自由な発想力を十分発揮し、地域の皆さんの立場に立った新たな価値・サービスを創造するフロントランナーとなり、職員が誇りに思える法人を目指します。

医療福祉センター 倉吉病院



多職種共同による新入院患者症例検討会

の施設基準取得へ取り組んでいきます。

また、「在宅プロジェクト」として在宅部門や外来部門との連携体制の構築、「認知症疾患医療センター」の機能拡充にも取り組んでいきます。

藤井政雄記念病院



多職種での連携を図ります

当院の平成29年度の重点取組は、地域包括ケアシステム構築のため、医療、介護の強固な連携を図ることを取組みの最重要課題と考えております。また、訪問看護・訪問リハビリ・歯科の連携により、在宅患者の支援を強化してまいります。地域の皆様に安心を提供できるよう、職員が一丸となって取り組んでまいります。

米子東病院



楽しみながらできるリハビリを提供しています!!

鳥取県西部医療圏における、地域包括ケアシステムの一翼を担う病院として、診療・看護・リハビリテーションなどの充実をハード・ソフト両面から目指し、サービスの質改善を常に行って

いきます。患者さんの、入院から退院後の在宅復帰まで総合的な支援を実施し、地域の方々から信頼される病院を目指します。

藤井政雄記念病院 附属歯科クリニック

当クリニックは初診随時受付、再診は時間と処置を予約して計画的に診療しております。今年度は口腔ケア、唾液腺マッサージ、口腔周囲筋の筋トレ等口腔のリハビリに取り組みでまいります。また検診に注力し早期発見早期治療の原則にのっとり、基本に忠実懇切丁寧な治療をいたします。



車椅子でも入りやすいゆったりとしたスペース

ル・サンテリオン北条

介護領域における医療・認知症ニーズの高まりに対応する体制の構築と併せ、摂食嚥下・口腔機能向上に向け取り組んでいきます。また行政と連携し介護予防事業にも注力し、地域に貢献できる老健として職員一丸となって邁進します。



職員が生き活きと働ける職場を目指して

ル・サンテリオン鹿野

「①リハビリ鳥取県一の老健を目指す ②鳥取西地域での地域包括ケア第一の拠点となる」を中期ビジョンに掲げ、温泉と認知症予防をキーワードに次年度の医療・介護同時改定に備えるべく1年となります。昨年

オープンした認知症カフェも定着に向けた取組みを強化します。



老健リハビリの鳥取県一を目指します!

ガーデンハウスはまむら

開設から4年を迎える本年は、在宅サービスの複合施設として、地域包括ケアの拠点となるべく新たな事業を展開します。

『定期巡回・随時対応型訪問介護看護』事業です。鳥取西地域では初めての事業であり、馴染みがないサービスですが、地域に浸透するようPRをしていきます。



家族介護教室 (在宅復帰に向けて)

在宅医療福祉センター



よなご大平園の祭りで地域の子どもたちとべっこう船作り

昨年の震災を教訓に、今年には更に安心・安全な施設づくりを目指します。

また、各部門でも支援内容の充実(宿泊型・GHでは夕方支援時間の延長等)を図り「利用者の方が落ち着いて暮らせる環境づくり」に取り組んでいきます。



園のエコ活動～ペットボトル回収箱～

大和保育園

米子市からの移管開設から今年で3年目を迎えます。昨年度は「保護者・地域」との連携を深めることを重点項目に取り組んでまいりました。今年度は、地域社



鳥取県中部地震からの復旧工事着々と!

会への『貢献』を園児・職員が一緒になって取り組む年にしたいと考えます。ペットボトル蓋の回収によるエコ活動や、園児が拾ってきただんごり・木の実の栽培及び植樹等を通して、地域社会へ恩返しすることに取り組んでまいります。

法人事業部

「食の安全、食の楽しみの提供」が今年のテーマです。患者様・利用者様にとって、食することは大きな楽しみの一つ。安全で美味しい食事を提供するのには勿論のこと、目で楽しみ、雰囲気や季節を味わっていただけるような食事を提供します。



ひな祭り御膳

医師の明瞭解説

「終末期医療について」 — 当院での緩和医療を通して —

藤井政雄記念病院

遠藤 信典 医師が
わかりやすく解説



藤井政雄記念病院
緩和ケア病棟 担当医

遠藤 信典

はじめに

鳥取県中部地域の終末期医療の一部を担っている当院の緩和ケアを通して解説します。

現在緩和医療は抗がん剤治療など、治療と並行して受けられている場合がほとんどです。

当院へは治療の効果が得られなくなったり治療を断念された方々が転院されてきます。

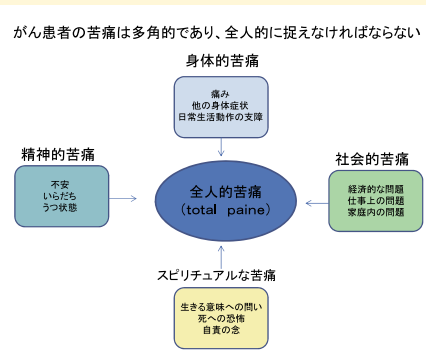
包括的がん医療モデル



世界保健機関：武田文和（訳）、がんの痛みからの解放とパリアティブ・ケア。—がん患者の生命のよき支援のために—、東京：金原出版、1993。

まず、「今一番困っていることは何ですか？」のように開かれた質問により苦痛や心配を引き出し評価します。もちろんご家族や紹介状の情報も評価しその方の人となりやイメージできるまでの情報収集は不可欠です。

次に問題点を全人的苦痛の表に分類します。（もちろんこれが問題点のすべてではありませんが）



身体的苦痛…主に癌由来の疼痛を分類しWHOラダー（※1）や癌疼痛の薬物治療に関するガイドラインに従い治療を行います。癌による疼痛は生活の質（以下QOL）を著しく落とす原因

であり、疼痛除去あるいは軽減はとても重要な業務です。
精神的苦痛…癌になったことによる精神的苦痛は必発で、傾聴・投薬で対応します。しかしそれらの対応で不十分の際には倉吉病院精神科医による往診を行います。

スピリチュアルな苦痛…傾聴の他にチャプレンさん（病院付牧師）が週1回来られており相談にのつてもらっています。

社会的苦痛…傾聴の他にケースワーカーを通して第三機関に相談することもあります。
入院後は日々変化する情報を集め、一日2回のカンファレンスで問題点を引き出し、話し合います。

QOLの高い生活を維持していただけるよう、緩和的リハビリやアロママッサージ・季節の催し物も行っています。（アロママッサージは好評です。）

■終末期医療の問題点

治療方針決定に際し、患者様の意思を中心にご家族の考えと医療側の見解をまじえて最善の治療方針を決定します。
同じ癌だとしても患者様を取り巻く環境は多種多様であり、また認知症その他種々の事情によりご自分で意思表示できない方も多数おられます。療養方針は一律ではなく個別の対応が不可欠です。緩和ケアの療養法の選択にはこれが正解というものがなく、試行錯誤しながらチー

ムとして方針を決めます。

それを実践している時でさえ「これで良かったのだろうか、別の方法が良かったのでは」という気持ちになります。

患者様が旅立たれた後、とりわけ症状変化が急速であったり症状緩和の効果が十分でなかった患者様の経過については無力感を感じてしまします。そういう症例に対しては後日、デスケアスキャンファレンスを行い、次の類似した症例に活かせるような問題点を話し合い対策を検討しています。

緩和ケア医療は病気を治すことと自身が目的ではなく、患者様・ご家族に満足のできる時間を過ごしていただくことを目的としています。指針として生命倫理4原則と寛容さを意識して診療にあたります。

生命倫理4原則

1. **自律尊重原則**: 自由かつ独立して考え決定する能力、またそのような考えや決定に基づいて行為する能力を尊重する
2. **善行原則**: 患者のために最善をつくすことを要求
3. **無危害原則**: 善行原則と運動した意味合いを持ち、「害悪や危害をおよぼすべきではない」という責務
4. **正義原則**: 社会的な利益や負担は正義の要求と一致するように配分されなければならない

■今後の終末期医療について
「終わりよければすべてよし」

この言葉があるように誰でも心残りがなく自分の人生に満足し、苦痛なく終わりたいと願っていると思います。この業務に携わっているうちに、改めてそのようになるためには準備が必要であることに気がつきました。実際、世の流れはその方向に向かっており、リビングウィル（※2）やアドバンスケアプランニング（以下ACP（※3））が普及しつつあります。ACPの考えを発展させ人生をさかのぼって今何をすべきかを思い描くことは身体的なことのみならず、自身の人生をいかに生きるかという人生そのもののあり方について考え、準備することにつながります。

これからは患者様の心に寄り添い『がんになったのは不運だけれど不幸じゃない』（※4）と言ってもらえるような緩和ケア医療を目指します。

（※1）世界保健機関の定めるがん性疼痛の治療原則

（※2）自分が受けている治療行為に関して正当な判断をせなくなった場合を想定して延命治療に対する態度を患者自身が生前より意思表示を行うこと。個人の尊厳を守り延命を意図した無理な治療による苦痛を回避すること。

（※3）リビングウィルをさらにおしすすめたもの。将来の意思決定能力の低下に備えて、今後の治療について患者、家族とあらかじめ話し合うプロセス。いかに生きるかという人生そのもののあり方について考えること。

（※4）『がん向きさ』、大西秀樹さんに聞く、日本経済新聞2014年4月12日

藤井政雄記念病院で 乳がん研修を行いました。

平成29年1月27日藤井政雄記念病院ヘルスケアセンターでは、「今気になる乳がん！！自己触診で早期発見」と題して健康教室を開催し、20代から70代まで幅広い年齢の方々にご参加いただきました。保健師、医師の講話の後、自己触診モデルの体験や参加者同士の交流も行いました。参



石飛医師による講話



自己触診モデル体験中



自己触診が早期発見につながります

キラッとフォーカス

このコーナーでは、
キラッと輝く職員を
みなさんに紹介します。



中部障がい者地域生活
支援センター
社会福祉士
錦田 修子

Q この職業に就くまでの経緯を教えてください。

子育てがひと段落して「働きたいな」と思い、前職場に就職しました。そこで相談業務をしていたのですが、これからも続けたい仕事だと思い社会福祉士資格を取得しました。

また、仁厚会スタッフと仕事をすることがきっかけで「一緒に働きたい」と考えるようになり、仁厚会に就職しました。

Q ごのような仕事をされていますか？

支援センターでは、障がいのある方の生活に関する相談を受け、その人らしく地域で安心して生活することができるよう自己決定の支援や福祉サービスの利用調整を行っています。

例えば、一人暮らしをしたいけれど、調理、洗濯、掃除など



Q 市民後見養成講座を受講されたとのことですが？

支援センターへご連絡ください。私たち相談員が、ご自宅にお伺いすることもできますし電話による相談も可能です。もちろん直接お越しいただいても結構です。秘密は守られますので安心してご相談ください。

相談の際には、まの家事をすることに不安があるという方には、ホームヘルプサービスの紹介や利用手続きを一緒にさせていただきます。また、家族や友人と上手く付き合いたい方がどうしたら良いのか分からない等、対人関係の悩みについて相談を受けることもあります。

財産管理と身上監護（介護保険や病院などの「身の上」の手続きをすること）を行います。私は、平成28年10月に初めて成年後見人を受任、NPO法人のサポートを受けながら後見業務を行いました。成年後見人は、想像していたより責任を重く感じましたが、本来ならば出会うことのなかった人々と出会え、利用者様から生き方を教わる事が出来ました。

Q 今後の目標や希望を教えてください。

関わった方の生活が良い方向に向かったとき、自己決定ができたとき、その人らしさを知ったとき、この仕事に魅力を感じます。他機関・多職種との協働もこの仕事の良いところです。

仕事・仕事以外のことに全てにいつも一生懸命というわけにはいかないで、「今は何をするのか」考えながら行動していくようにしたいです。

●お問い合わせ

中部障がい者

地域生活支援センター

☎(0856)26・2346

【利用時間】

平日（月～金）

午前9時～午後5時30分

春キャベツと豚のミルク味噌煮

材料
(2人分)

豚肩ロース薄切り肉…100g
片栗粉……………大さじ1
新玉葱……………1/4個
春キャベツ……………150g
スナップエンドウ……………4本
牛乳……………100ml

*だし……………100ml
*しょうゆ…小さじ1/2
*酒……………大さじ1
*砂糖……………小さじ2
*味噌……………大さじ1

【作り方】

- ①玉葱はくし切りに、キャベツはざく切りにする。
スナップエンドウはさっと茹でる。
- ②豚肉は片栗粉をさっとまぶす。
- ③鍋に豚肉を広げるように入れ、玉葱、キャベツ
を入れ炒める。*を加えて蓋をして煮る。
- ④豚肉に火が通ったら牛乳を加え温める。
- ⑤器に盛ってスナップエンドウを添える。



今回のレシピ担当

ル・サンテリオンよどえ
栄養士/小林奈緒美

豚肉の栄養

いきいきと活動的な生活を送るためには、身体に必要な栄養を毎日摂ることが大切です。豚肉は、良質なたんぱく質源であり、ビタミンB1を多く含んでいます。ビタミンB1は糖質をエネルギーに変えるために必須で、脳や神経機能の維持にも欠かせません。

調理のポイント

豚肉は火が通りすぎると固くなり、噛む力が弱い高齢者には食べにくくなります。そんな時は、片栗粉をまぶしたり、めん棒などでたたいて繊維をほぐしたり、包丁ですじを切るなどの、調理前の下ごしらえをするだけで、やわらかくなりとても食べやすくなります。また、今回のメニューは牛乳で煮ることにより、不足しがちなカルシウムと一緒に補うことができます。ぜひ、日々の食事の中に取り入れてみてください。

～雑祭り～
色鮮やかな食事を
おいしく頂きました。



大和保育園

園で育てたサケを日野川に放流。
一足先に卒園するサケたちを
年長児が見送りました。



ル・サンテリオン鹿野

米子西高校書道部による
迫力満点のパフォーマンス!

Photo
Report

ガーデンハウスよどえ



社会医療法人 仁厚会

〒682-0023 鳥取県倉吉市山根43 TEL.0858-26-1012



病院機能評価認定

医療福祉センター倉吉病院
TEL.0858-26-1011
藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111
米子東病院 TEL.0859-56-5232

ISO9001取得(JMAQA)

ル・サンテリオン北条 TEL.0858-36-5220 ガーデンハウスよどえ TEL.0859-56-5210
ル・サンテリオン鹿野 TEL.0857-84-3700 在宅医療福祉センター TEL.0858-26-2346
ガーデンハウスはまむら TEL.0857-82-6500 法人事業部セントラルキッチンアーク
ル・サンテリオンよどえ TEL.0859-56-4073 TEL.0858-26-1517

ISO9001取得(JSA)

藤井政雄記念病院 TEL.0858-26-2111

藤井政雄記念病院附属歯科クリニック TEL.0858-26-4276
大和保育園 TEL.0859-56-2203